

豊栄小学校だより

やる気・勇気・元気

めざす子ども像

- ・進んで学習に取り組む子ども(やる気)
- ・思いやりのある子ども(勇気)
- ・進んで身体を鍛える子ども(元気)



HP QR コード

住所 匝瑳市飯倉 1847
電話 0479-72-0531

陣馬台が使えなくなりました 大塚製靴さん今までありがとうございました

グラウンドの奥の「陣馬台」と呼んでいる第二グラウンドは、大塚製靴さんの土地を、ご厚意により昭和の頃から使用させていただいてきたものです。このたび、諸事情により卒業式以降の利用ができなくなりましたので、お知らせします。大塚製靴さんには、長年に渡るご厚意に改めて感謝申し上げます。

来年度の諸行事での駐車場や、マラソン大会のコースなどをどうするか、現在検討しています。皆様にもご協力いただくことが出てくるかと思われませんが、ご理解ください。

より安全な通学路に

本校の通学路になっている、「いむら歯科」付近の横断歩道について、スピードを出す車が見られる中、坂の頂上に近く見通しが悪いとの声をいただいていた。「浜菊」近くの線路沿いの道路も、スピードを出して通過する車が見られ危険とのことで、市教育委員会に改善を要望していました。

2月はじめ、双方とも「学童注意 速度落せ」の文字を道路にペイントしていただくとともに、「浜菊」近くは歩行者の安全を守るためのプラスチック製のポールを立てる対応をしていただきました。

これからも児童がより安全に登下校できるように環境整備していきたいと思えます。「危ない」と思う箇所がありましたら、学校にご一報ください。

また、自分自身ドライバーとして歩行者や自転車の安全を意識した優しい運転を心がけようと、改めて思いました。



今年学習した内容は、今年のうちに身につける

21・22日に千葉県標準学力検査を実施しました。年に一回のテストで、通常のワークテストに比べ、気合が入っている児童が多かったようです。個人の結果は3月1日の学級懇談会でお渡しする予定です。

テストが終了し、ほっとしている児童もいるように思えますが、ここからが大切です。間違えた問題はどこが違っていたのかきちんと振り返り、できるようにすることが必要です。1年間の学習を含め学級で振り返りますが、家庭学習として自主的に確認できるととても良いと思えます。特に今年学習した漢字は、書ける・読めるようにしておきたいものです。

1月22日の教育研究集会で、精神科医で作家の 樺沢 紫苑 氏の講演を聞きました。その中で、「脳は、様々なことを全部記憶として残しておくとはパンクしてしまうので、物事を短期的に記憶し、その後は忘れるようにできている。2週間のうちに3回『話す・書く』などのアウトプットをすると、長期記憶になる。」というお話がありました。つまり、「漢字学習でそのときに1回書く程度では、短期記憶でしかなく、忘れてしまう」ということです。長期記憶になるような学習方法を工夫することが大切です。

学力テストに限らず、日頃の子どもたちを見ていて、多分こう聞かれているのだろう、多分こう答えれば良いのだろうと、**最後まで問題文を確認しないで回答し、誤答をする児童が多い**ように感じます。これは、最近に始まったことではなく以前から見られる傾向です。「**文字を追うのが面倒**」「**丁寧に取り組む習慣が定着していない**」などが原因かと思われます。すぐに克服するのは難しいことだと思いますが、日頃から短い文章でも読むことに慣れさせることが大切です。また、子どもに最後まで話させ、こちらの話も最後まで聞くという、単語ではなく文で会話をする習慣をつけることも効果が期待されます(時間がなくて「常に」とはいかないでしょう)。また、大人の私たちがきちんとした日本語を使っていくことも大切かと思えます(私自身できていないところも多いのですが、...)。

学力向上は普段の生活習慣とも密接に関係があり、一朝一夕で効果が出るものではありません。しかし粘り強く取り組めば、効果は必ずあると信じています。

※学校便りは、家庭数で配付しています。